

JAPANESE JOURNAL OF TOMOGRAPHY

Vol.27 No.2/JUN.,2000

TGP.96

CTが診断に有用であった特発性  
食道破裂 (Boerhaave 症候群) の1例  
A case of spontaneous rupture of the  
esophagus(Boerhaave syndrome) detected by CT  
小原秀一・西原礼介・村上忠司・児玉隆之  
国立呉病院放射線科

**Title :** CTが診断に有用であった特発性  
食道破裂 (Boerhaave 症候群) の1例  
A case of spontaneous rupture of the esophagus  
(Boerhaave syndrome) detected by CT

**Authors :** 小原秀一・西原礼介・村上忠司・児玉隆之  
国立呉病院放射線科  
Shuichi Ohara, Reisuke Nishihara,  
Tadashi Murakami, Takayuki Kodama  
Department of Radiology, Kure National Hospital

**Case :** 69歳、男性

**主訴 :** 左背部痛



図1a



図1b

**現病歴 :** 朝よりやや調子が悪かったが、食事など普通の生活をしていた。夕方食欲なく、嘔吐が1回あった。その頃より左背部痛を訴えるようになり、増強してくるため来院した。

**既往歴 :** 特になし。

**現 症 :** 意識清明。血圧203/118。貧血、黄疸なし。

左肺の呼吸音が弱い。腹部は平坦、軟。

**検査所見 :** WBC 9800 以外異常なし。

**胸部X線写真 :** 臥位にて、左胸水と気胸を認める。左肺に容積減少があり、縦隔陰影は右偏している(図1a)。座位にて、左気胸が明瞭である(図1b)。



図2a

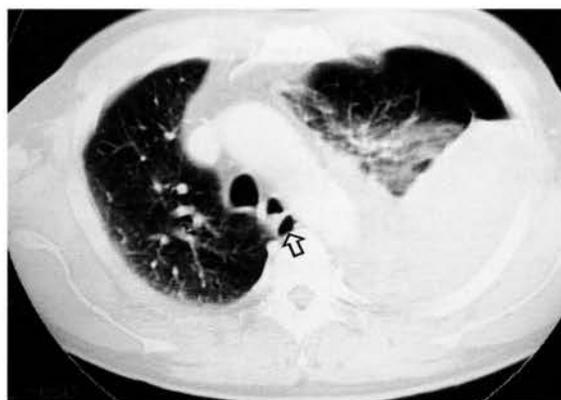


図2b



図3a



図3b

**C T:**大動脈弓のレベルで、左に胸水と気胸を認める(図2a)。食道の後ろに空気(矢印)が認められる(図2b)。横隔膜より少し上のレベルで、やはり左に胸水と気胸を認める。胸水の中に食道胃内容物と思われるもの(矢印)が認められる(図3a)。縦隔内には食道内ではないと思われる空気(矢印)が認められる(図3b)。食道破裂と診断できる。

**内視鏡:**食道下端左壁に1cmの裂創を認めた。

**経過:**左胸腔ドレーンより、食物残渣を多量に排出した。手術行わず、保存的に治療する。感染にて、発熱、循環動態不安定となり、左胸腔ドレーン2本、左縦隔ドレーン1本のドレナージを行った。入院75日目の内視鏡にて、食道下部裂創部はscarとなり、完治していた。入院79日目に退院となった。

**Diagnosis:**特発性食道破裂(Boerhaave 症候群)  
spontaneous rupture of the esophagus  
(Boerhaave syndrome)

**Comments:**特発性食道破裂(Boerhaave 症候群)は

強い嘔吐などの急激な腹圧上昇によって突発的に起こる。通常下部食道で横隔膜の直上部の左側壁に多発する。縦隔胸膜も同時に裂け、胸膜腔内に炎症、胸水、気胸をきたすことが多い<sup>(1)</sup>。CTで、食道の周辺にみられる空気、胸腔内の食道胃内容物、気胸が食道破裂の診断根拠である。本疾患は早期診断と早急な外科治療が必要とされる。早期の適切な処置として胸腔ドレナージが有効である<sup>(2)</sup>。

**Conclusion:**CTが診断に有用であった特発性食道破裂(Boerhaave 症候群)の1例について、CT像を中心に報告した。

#### References:

1. 小林迪夫:食道破裂と穿孔. 新内科学大系14消化管疾患 I :391-393, 1976, 吉利和ら編, 中山書店, 東京
2. 井上恒一、牧田俊宣、新井好範ら:胃上部の胸腔内脱出を併発した特発性食道破裂の1治験例. 日胸外会誌 39:1923-1926, 1991

ダウンロードされた論文は私的利用のみが許諾されています。公衆への再配布については下記をご覧ください。

### 複写をご希望の方へ

断層映像研究会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です）。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。

直接、断層映像研究会へお問い合わせください

### Reprographic Reproduction outside Japan

One of the following procedures is required to copy this work.

1. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has concluded a bilateral agreement with an RRO (Reproduction Rights Organisation), please apply for the license to the RRO.

Please visit the following URL for the countries and regions in which JAACC has concluded bilateral agreements.

<http://www.jaacc.org/>

2. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has no bilateral agreement, please apply for the license to JAACC.

For the license for citation, reprint, and/or translation, etc., please contact the right holder directly.

JAACC (Japan Academic Association for Copyright Clearance) is an official member RRO of the IFRRO (International Federation of Reproduction Rights Organisations).

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619